

# 大野町・北見市(北海道)友好都市提携25周年

大野町と北見市(常呂町)は、1998年(平成10年)10月3日に大野町で友好町提携の調印式を行ってから、本年で25周年を迎えました。

この間、子どもの交流や物産販売、災害時等相互応援協定などにより友好の絆を深めてきました。

## 北見市の概要

平成18年3月5日、<sup>たんの</sup>北見市、<sup>の</sup>端野町、常呂町、留辺蘂町が合併し、新「北見市」が誕生しました。

北見市は北海道の東部に位置しており、人口約11.2万人のオホーツク圏最大の都市です。面積は1,427.56km<sup>2</sup>で東京都の約65%にあたる広さです。また、東西に延びる道路の距離は約110kmで、東京駅から箱根までの距離に相当します。

オホーツク地域の商工業・サービス業の中核である“北見”、美しい農村景観を有する“端野”、日本最大規模のカーリングホールとホタテ養殖発祥の地として知られる“常呂”、北海道屈指の温泉郷・おんねゆ温泉がある“留辺蘂”の、それぞれ魅力にあふれた4つの地域が一つになったまちです。(※北見市ホームページ抜粋)

- ・北見市長 辻 直孝 氏
- ・人 口 112,185人(令和5年7月末現在)
- ・世帯数 61,848 世帯



## 大野町と北見市(常呂町)とのかかわり

大野町と北見市(常呂町)との交流は明治中期から後期にかけ、岐阜県美濃地方に未曾有の大災害が頻発し、住民は疲弊困憊の極みに達し、

人々は北海道の広大な原野に新天地を求め、明治30年常呂町に入植されたことに始まります。

平成8年に北海道常呂町岐阜地区の農業者が「平成岐阜開拓団」を結成して、“100年目の里帰り”と題して、先達が厳しい環境・状況の中、開拓の夢を持ち進んだ道のを辿るべく、トラクターによる1600km走破『100年目の里帰り・岐阜から岐阜へ』のビッグイベントが開催されました。その後、広く町民に交流に対する支持を得、平成10年に友好町提携を締結し、小学生の派遣事業やイベント等を通しての交流が現在まで続いています。



▲平成10年友好町提携調印式

## 交流の歩み

昭和58年4月	常呂町より「エゾムラサキツツジ」を大野町に贈呈	平成10年8月3～6日	大野っ子遊友学派遣事業で大野町小学生常呂町を訪問
7月	「北海道の岐阜・親善訪問の旅」実施	10月3・4日	友好町提携調印・大野まつりで常呂町物産販売
8月	大野町より「アカマツ」を常呂町岐阜地区に贈呈	平成12年11月23日	第1回 柿・牡蠣まつり
11月	常呂町開基100年記念式典に大野町長が出席	平成18年3月5日	常呂町・北見市・端野町・留辺蘂町が合併し、新「北見市」が誕生
平成7年	5月29日 平成開拓団大野町訪問(助役、事務局長等)	5月27日	北見市合併記念式典に大野町長が出席
6月28日	平成開拓団実行委員会 大野町ほか各ふるさと訪問	10月1日	スポーツ文化講演会(小野寺 歩さん、林 弓枝さん来町)
7月6日	大野町議会議員常呂町訪問	平成20年10月17・18日	大野町・北見市友好都市締結10周年記念北見市訪問に町長出席
8月25日	大野町農業委員会常呂町訪問	11月	北見市・大野町友好都市締結10周年記念大野町訪問に北見市長出席
9月11日	大野まつりで常呂町との懇談会	21・22日	北海道北見市(常呂岐阜地区)入植110年の里帰り
10月7日	'96年地域農業シンポジウム 平成開拓団副団長参加	平成25年10月18日	大野町・北見市災害時等相互応援協定締結
平成8年	3月3日 常呂町長来町	平成29年5月11日	いび川農協・常呂町農協・常呂漁業と友好提携締結
5月1・2日	常呂町物産販売(100年目の里帰り前夜祭)	平成30年10月26日	大野町・北見市友好都市締結20周年記念北見市訪問に町長出席
7月8日	100年目の里帰り 1,600kmをトラクターで走破	11月23日	北見市・大野町友好都市締結20周年記念大野町訪問に北見市長出席
9～20日	大野っ子遊友学派遣事業で大野町小学生常呂町を訪問	令和5年	8月19日～22日 大野町小学校児童派遣事業
8月4～7日	大野まつりで常呂町物産販売		
10月5・6日	大野っ子遊友学派遣事業で大野町小学生常呂町を訪問		
平成9年	7月23～26日 大野町長、大野町議会議長常呂町訪問		
22・23日			

その他、北見市で開催される菊まつり、大野町長杯パークゴルフ大会や、大野町で開催される北見市長杯少年野球大会、大野町小学生児童北見市派遣事業、各団体の相互訪問などさまざまな形で北見市との交流事業を続けています。